



【お礼】 8月1日 水の日キャンペーンについて

「8月1日 水の日」キャンペーンのご協力、ありがとうございました！

当キャンペーン期間では、167,084 円のご寄付がございました。厚く御礼申し上げます。口座入金は引き続き可能です。次回は「3月22日 世界水の日」キャンペーンを予定します。よろしくお願い申し上げます。

【JWF ファンド 2025 Irane 共同体地域教育支援 (モザンビーク)の事例】

モザンビーク北東部ザンベジア州ナマクラ郡にある Irane 共同体には 337 世帯 1,512 人が住んでいて、深刻な水・衛生・衛生管理 (WASH) の課題に困っていました。実施団体 Associação Wakelana は問題解決のために井戸を新設する計画を立てて、JWF ファンド 2025 に応募しました。審査の結果、USD 1,500 (約 23 万円) を助成して悲願の井戸が完成しました。



【引き渡し式】

上の写真は、井戸の引き渡し式です。村に安全な井戸水があれば、つらい水汲みも病気もなくなります！村人のみなさんは、紋付・訪問着のようにとおきの服に着飾って大喜びです！



プロジェクト実施前の湧き水水源



【湧き水水源】

Irane 共同体の水源地は、井戸ができる前までは左下写真の湧き水でした。日本でも、「山の生水を飲むな」と言われます。深い山の中でも、上流では小屋で尿尿を流していたり、牧場を営んでいたりと、動物が沢に倒れていたりとしますから。ましてや覆いもなく露出した村の湧き水では、汚れを防げず水系感染症の発生要因となります。また、暑さ・乾燥・雨水といった気候変動の影響も受けやすいです。



手掘り井戸の壁製作



【手掘の浅井戸】

現在日本の井戸掘りの多くは動力掘削です。上の写真のように立坑内で手掘り掘削してから人力でレンガを積み、井戸壁を仕上げることはまずありません。現地の工夫です！

裏面に続く→



完成した井戸



【手押しポンプ】

上の写真は、井戸に手押しポンプを設置して完成したところです。飲料水を汚さないように、コンクリートの水受けで井戸の開口部を覆っているところが重要です。プロジェクト採用時の審査では、故障した時に備えて水利用委員会を結成して使用料金徴収をすることになっているかチェックしました。



小学校校舎における住民衛生啓発研修



【衛生研修】

このプロジェクトでは、最初に井戸水源を確保しました。清浄な水を住民のだれもが使えるようになったので、それまで水がなかった小学校で行った衛生啓発研修もより実践的な内容になり、意義深くなりました。



【私たちの学び】

JWF ファンド 2025 では、意欲のある実施団体を支援して途上国の水・衛生環境を向上できました！引き続き、JWF ファンド 2026 でも良い報告ができるように努めます。ご支援は、右の QR コードからよろしくお願い申し上げます！



家庭用トイレの設置例



【衛生習慣】

安全な水が手に入るようになると、住民のみなさんの間でトイレや食事の際に手を洗う習慣ができました。上の写真のようなトイレ 27 カ所と、ゴミ処理穴 27 カ所が設置されました。汚物や廃棄物が住居から分離されて管理されるようになると、衛生状態が向上しました！



食器乾燥棚とは？



【食器乾燥棚】

Dishrack 製作と計画書に書かれていたものを、AI が食器戸棚製作と訳したので不審に思い実施団体に質問したところ、上の写真を送っていただきました！家庭に水が届いて皿洗いがはじまったので、棒材を並べた上に皿を逆さに置いて乾かす棚を製作するものでした。とても衛生的になりました！こうした食器乾燥棚が 49 台設置されました。

【ご支援は、次の QR コードから！】



Yahoo! JAPAN
ネット募金はコチラ！
Yahoo!JAPAN の ID が
必要です



クレジットカードは
コチラ！
税制優遇（寄付金控除）
の対象です